

為櫻探究で培う「アントレプレナーシップ」

「アントレプレナーシップ」とは

様々な困難や変化に対し、与えられた環境のみならず、自ら枠を越えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神。



先行き不透明なVUCA時代において、起業家を育成するためのビジネス教育ではなく、社会変化に対応できる、イノベーションを引き起こす人材教育が求められている。

※VUCAとは

Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性) の頭文字を取った言葉

為櫻探究を通じて育成を目指す4つの生徒の資質・能力

課題解決能力	課題が発生する要因について分析したうえで、最適な解決策を見つけ出し、実行していく力。
創造的思考力	既存の枠組みや前提にとらわれず、新しい発想や解決策を生み出すことができる思考力。
情報分析力	与えられた情報やデータを分析し、そこから意味のある情報を抽出したり活用したりする力。
主体性	自分の意思や判断に基づいて、課題を設定し、その解決に向けて積極的に行動しようとする態度

探究コンソーシアムの構築

これまで探究学習を通じて関わった企業・下妻市役所の方々をはじめ、新たに支援・協働していただける大学関係者、課外活動を通じて知り合った県内外の生徒、本校OBの大学生との連携を強化し、下妻一高を核とした探究コンソーシアムを構築していくことを目指します。

今年度の探究における主な連携先



LINEヤフー

その他にも多くの方にご協力いただいています！

アントレプレナーシップの育成



授業の枠を越えた活動：デジタルシティズンシップ

2024年度に校内探究発表で第1位に輝いたデジタルシティズンシップチームは、「プログラミングを利用して、アナログ的な学校の問題を解決しよう」というテーマのもと、茨城県庁で研究発表を行うなど、校外でも活躍しました。2025年度は、学校業務削減のためのデジタル面での取り組みとして、授業時間割をデータ上で共有可能な FunAssist というアプリケーションの開発・運用を進めています。また、為櫻祭ではデジタルパンフレットの作成を行い、ペーパーレス化に向けた活動に尽力しました。



IBARAKIドリームパスへの応募

2024年度は、県が主催するIBARAKIドリームパスに生徒の計251件の企画を応募し、学校賞を受賞しました。今後もさらに洗練した研究計画を立てて、最終選考を通過することを目指します。また、その他のフォーラムや研究発表会にも参加を検討しています。



「為櫻探究」学習の流れ

① 探究基礎

① DiscoverE Method (1・2年)

測定が難しいと言われた非認知能力を「3つの領域」と「8つの能力」に分けて可視化することができるツール。年度初めと年度末に実施し、その推移を確認する。

② 企業家教育ベーシックカリキュラム (2年)

講師をお招きして、「アントレプレナーシップを知る」「世の中のニーズを考える」の2コマで実施。グループワークを通して、ビジネスアイデアについて考える。

③ DS.INSIGHTの活用講習 (1・2年)

LINEヤフーが提供する、検索データや位置情報などのビッグデータを分析できるデスクリサーチツール。設定した課題に関連した情報収集・分析に活用する。



② 学年ごとの探究活動

地域共創プログラム (1年)

下妻市をフィールドに、「地域課題の解決策」「地域素材の有効活用」についてグループで考察する。最終的には生徒たちが企画提案書を作り、市に提言する。

～9月 企画提案書の方向性を決定
10～11月 フィールドワークや聞き取り調査
web会議による情報収集・分析
～12月 企画提案書の完成
～1月 合同発表会に向けた準備



〔育成を目指す能力〕

- ①地域課題の解決策を見出し、高校生ならではの視点からアイデアを生み出す力
- ②ビッグデータを用いて情報を分析し、活用する力

実情に合わせたアプローチ	主な領域例	
まちづくり	教育	観光
食・農業	防災・防犯	医療
健康福祉	ICT	経済
交通	環境	商品開発

探究ゼミ (2年)

配属されたゼミと関連するテーマ(仮説)を立て、調査活動を通して仮説の検証を行う(個人・グループどちらの形態でも可)。専門的な知見を有する外部人材との連携のもと、活動を行っていく。

～9月 各ゼミに分かれての活動
学習計画書の作成(個人またはグループ)
10～11月 調査活動、ゼミにおける体験学習
web会議による情報収集・分析
12～1月 合同発表会に向けた準備



〔育成を目指す能力〕

- ①自分の興味・関心にもとづく研究テーマを設定し、独自の成果を生み出す力
- ②先行事例から情報を分析し、仮説の検証を行う力

① 文化・教育ゼミ

歴史学・哲学・宗教学・文学・芸術学・日本語学・文化学・教育学全般・児童学

② 社会科学ゼミ

法学・政治学・経済学・観光学・社会学・地理学・心理学

③ メディア・ラボ

情報工学・情報科学・メディア学・(教育工学)

④ 工学ラボ

機械工学・航空宇宙工学・電気電子工学・応用物理学・建築土木環境工学・数学

⑤ 国際ゼミ

国際教養・外国語学・(英語教育)

⑥ サイエンス・ラボ

化学・生物学・農学・水産学・地球科学

⑦ メディカル・ラボ

医学・看護学・薬学・獣医学・医療技術(検査)

⑧ フィジカル・ラボ

体育・健康科学・保健学

⑨ 地域ビジネスゼミ

経営学・商学・地域創生・まちづくり

③ 探究発表

年間を通して探究したテーマの発表会を実施。昨年度は全体で探究活動ポスターセッションを実施し、投票によって優秀発表に選ばれた8団体がスライドを使ったプレゼン発表を実施。企業の方を審査員として招き、最優秀発表を決める。

〔育成を目指す能力〕

これまでの活動についてまとめた成果について表現し、他者に伝えようと積極的に取り組む態度

昨年度の探究成果発表会の様子 (2月に実施)

